

## 土木学会四国支部「土木紀行」No.33(愛媛県)

### ～臥龍山荘(がりゅうさんそう)～

伊予の小京都と呼ばれる愛媛県大洲市にある臥龍山荘は、大洲市中心を流れる肱川随一の景勝地・臥龍淵(がりゅうぶち)に臨む三千坪の山荘で、臥龍院・不老庵(ふろうあん)・知止庵(ちしあん)と富士山(とみすやま)などを借景とした庭園があり、四季折々に深い趣を見せています。



臥龍山荘(外観)

臥龍山荘は、大洲一番の観光のみどころで、明治時代に4年の歳月をかけて建てられた数寄屋造の名建築です。4～5月の土・日曜、祝日には、臥龍山荘下から如法寺河原までの渡し船、臥龍の渡しも運航されています。

河内寅次郎が構想10年、施工4年の歳月をかけて建設し明治40年(1907年)に完成しました。臥龍院、不老庵、知止庵の建造物と借景庭園を含めて昭和60年1985年に愛媛県指定文化財に登録されました。母屋の臥龍院は数寄屋造りで、清吹の間(せいすいのま)は欄干の透かし彫りにより水の流れを表現し高い天井には屋久杉が使われ、壺是の間(いつしのま)は桂離宮様式が色濃く現れ、霞月の間(かげつのま)は縁に仙台松の一枚板が使用されるなど各所に創意工夫がなされています。知止庵は浴室であったものを昭和24年(1949年)に茶室



不老庵



臥龍院

に改装されました。不老庵は風光明媚な肱川の臥龍淵(がりゅうのふち)の崖の上に建てた数寄屋造りで、生きた榎の木が捨て柱として使用されています。庭園の飛石には石臼、てまり石などがそのまま嵌め込まれ、榎、榎、楓などの樹木が茂り、苔類も珍種が見られるとのこと。季節折々に様々な風景を見せるこの秋がおすすめです。

愛媛大学 門田

参考文献)大洲市ホームページ

<http://www.city.ozu.ehime.jp/>